

ふちゅう歴史散歩 Vol.162

平城宮跡出土の備後国の荷札木簡



【写真1】平城宮314号木簡
備後国三上郡調嶽志拾口○天平十八年

木簡とは「木片に文字が書かれたもの」であり、古代に限定されませんが、注目されるのは古代のものでしょう。そこには『続日本紀』などの歴史書には描かれない状況が記され、そこから新たな歴史像が生み出されることもあるからです。

さて、木簡は大きく文書・付札・その他に分類されます。今回取り上げるのは付札のうちの荷札木簡と呼ばれるものです。これは荷物に付けられる札のことで、荷物の内容や送り主の情報が書かれていました。これによって、どこから来た荷物なのか確認することができたのです。写真の木簡からは、備後国から平城京に鉦や白米が送られていたことが分かります。これらの荷物は備後国内で準備されたものであり、そこに付けられる



【写真2】
平城宮2263号木簡
・備後国御調郡
・諫山里白米五斗

木簡も備後国内で作成されていたはず。そして、荷物と木簡の記載内容をおそらく国や国司がチェックし、その後荷物に木簡が付けられて送り出されたと考えられます。

荷札木簡は、律令制下の税制を考える資料として使用されることが多いのですが、それだけではなく国府の役割や国司の仕事の一端を垣間見ることができ資料なのです。

府中市教育委員会では、10月13日(日)、ふちゅう歴史フォーラム「国府とは何か？」を開催します。
(詳しくは21ページ)

【写真1・2】 ColBase
(<https://colbase.nich.go.jp>)

—市民レポーターが府中の魅力を投稿します—

ふちゅう Sai 発見！

「広島県高等学校ロボット競技大会」
高校生編 その119

投稿者(文と写真)

府中東高校1年生(左から)
難波 侑冬さん・住田 悠真さん



8月21日(水)に第32回広島県高等学校ロボット競技大会がTTCアリーナで開催されました。府中東高校からはインテリア科の2年生が1チーム出場しました。また、府中東高校が今大会の事務局校として、生徒会を中心に大会運営

を行いました。インテリア科のロボット(コックさん)は普段の実習で使用している木材を使用してロボット製作をしました。結果は、見事に敢闘賞を頂くことができました。来年こそは、さらに上位入賞を目指して準備していきたいと思います。

ロボット大会
競技運営の様子



インテリア科
ロボット(コックさん)



公式SNS



LINE



Facebook



Instagram



メール



府中市メール配信サービス

スマホアプリ My府中



iPhone



Android

